

教育 かしま

第47号

発行日
令和3年9月15日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 総務就学課
Tel0299-82-2911 (内線522)



(電子版はこちらから)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

2学期はリモート学習でのスタート



電子黒板を使用して学習を進めています（鹿島中）

国の緊急事態宣言（8月20日（金）から9月12日（日））が発令され、県内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらない状況を受けて、鹿嶋市では9月1日（水）から9月12日（日）までの期間、感染症拡大防止のため公立小中学校を臨時休業としています。

児童生徒に1人1台配布をしているノートパソコン（Chromebook）を活用したリモート学習が休業期間の9月6日（月）から市内公立小中学校で始まりまし。オンライン会議アプリ（zoomやmeet）を活用することによって、家にいながらも授業を受けることができます。

子どもたちのいない学校の教室では、各先生方がカメラの向こう側にいる子どもたちに向けて、電子黒板を用いて授業をしたり、子どもたちが内容を確認しやすくなるように様々な工夫を凝らしています。



分散登校期間中にリモート学習の準備を進めました

小学校で、子どもたちは9月1日（水）から3日（金）までを準備期間として、オンラインによるリモート学習の参加の仕方を学びました。

始業式もリモート形式で行われ、子どもたちは電子黒板に映る校長先生の話しを聞き、始業式後にリモート学習について、担任の先生から説明を受けました。

（左の写真は、三笠小でのリモート始業式の様子）

～普段のノートパソコンの活用について～

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休業期間中のリモート学習に主に使用されていますが、普段の授業でもノートパソコンを活用して授業を進めています。今回は豊津小学校の様子をピックアップして、普段どのように使用しているかをご紹介します。

1. 通常授業での活用

遠方の講師の先生によるオンライン講話を始め、画像や動画を利用しながら学習の理解を深めています。また、子どもたちが自分で検索ツールを利用して資料を作成したり、プロジェクターで発表をしています。



黒板にアプリを映して勉強をしています



↑ ノートパソコンを使用しての発表会



↑ 5年生が1年生にクイズを出しています

2. 夏休み中の活用

夏休み中に各学年1回、オンラインアプリ「meet」や「zoom」を使用して子どもたちと担任の先生でオンライン朝礼を行いました。じゃんけんや簡単にできる運動をみんなで一緒に行いました。また、子どもたちが夏休みの思い出を発表したり、先生が秋に行う運動会の係の紹介を行いました。画面から子どもたちの元気な様子が伝わりました。



↑ オンライン朝礼の様子



東京2020オリ



聖火が鹿嶋を走り抜ける！



トーチに聖火が灯される（左：錦織市長、右：研ナオコさん）

7月4日（日）に市内で聖火リレーが行われました。

出発式は鹿島神宮で行われ、千葉県から引き継いだトーチに錦織市長が聖火を灯しました。

聖火リレーの第1走者はかしま大使の研ナオコさん。研さんは沿道の応援を受けながら笑顔で走り出しました。総勢25名の走者が鹿島神宮大鳥居からカシマスポーツセンタージーコ像前までの合計21区間約4.1 kmを走り抜きました。

鹿島アントラーズで活躍をしたジーコさん、中田浩二さん、本田泰人さん、名良橋晃さん、鈴木隆行さんのアントラーズレジェンド5名がアンカーを務め、市民からの拍手の中カシマスポーツセンターでゴールしました。

聖火はその後、次のリレー場所であるひたちなか市に引き継がれました。

小雨が降る中の開催となりましたが、笑顔で走り抜いた走者の皆さん、ボランティアとして参加した鹿島高校と鹿島学園のサッカー部や一般参加の皆さんから大きな拍手が送られました。



ゴール後のアントラーズレジェンズ

オリンピック(茨城県立カシマサッカースタジアム)応援日程

7月22日（木）から8月5日（木）まで、茨城県立カシマサッカースタジアムでサッカーの試合が行われました。市内の小中学生は下記の日程で応援をしました。

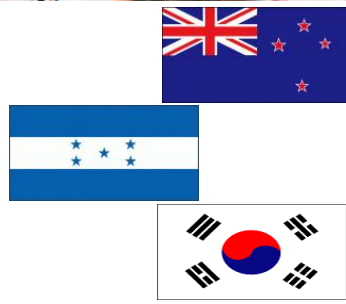
7月22日（木） （男子予選）	代表	ニュージーランド	韓国
	応援校	波野小	豊郷小、三笠小
7月25日（日） （男子予選）	代表	ニュージーランド	ホンジュラス
	応援校	豊津小、鹿島小 大同東小	平井小、鉢形小 中野東小、中野西小
7月27日（火） （女子予選）	代表	オーストラリア	アメリカ
	応援校	高松小、高松中 平井中、大野中	大同西小、鹿島中 鹿野中、鹿島高等学校附属中

ンピック開催 in 鹿嶋

鹿嶋っ子たちが試合を盛り上げる！

平成29年度より計画し、これまで様々なオリンピック競技のトップアスリートを小中学校に派遣するなどしてきた鹿嶋市オリンピック・パラリンピック教育推進事業の集大成として、市内の小中学生を茨城県立カシマサッカースタジアムに招待しました。

子どもたちは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、来場できない海外サポーターの代わりに、その国の国旗やメッセージを書いた応援旗、うちわを作成して応援をしました。感染症対策のため大きな声を出しての応援ができない中、会場を一生懸命に盛り上げてくれました。



完成した応援旗（ホンジュラス）（中野西小）

海外の反響～鹿嶋市の子どもたち、ありがとう～

本市の応援事業の趣旨を各国の大使館等に伝えたところ、在ホンジュラス日本国大使館や姉妹都市を結んでいる韓国・西帰浦市の関係者から賛同をいただき、応援グッズを作成する子どもたちを激励するビデオメッセージが届きました。

ホンジュラスからは、特命全権大使や大使館職員、現地の方々が次々に登場し、「鹿嶋市の子どもたちありがとう」、「ホンジュラスと日本はサッカーで繋がっています」と感謝の気持ちが届きました。

また西帰浦市からは、現地の小学生が、「応援するために一生懸命準備してくれてありがとうございます。機会があったら、西帰浦市に遊びに来てください。」と語りかけてくれました。これらのビデオメッセージを見た子どもたちは、試合観戦前に応援する意欲を高めたようです。

熱心に応援する子どもたちの姿は、世界各国で報道され、その姿に感銘を受けたという駐日本大韓民国特命全権大使やオリンピック韓国選手団団長からは、お礼の手紙が届きました。また、アメリカ女子代表サッカーチームが公式SNSに写真を投稿し、感激のコメントを記しています。

子どもたちの一生懸命な応援は国境を越えて海外の方々に届きました。そして、子どもたちは国を超えた繋がりで喜びや感動を経験することができました。



鹿嶋市の子どもたち ありがとう
ホンジュラスからお礼のメッセージ



韓国西帰浦市の小学生からも動画でお礼が届きました



アメリカ女子代表公式SNSより感激のコメント

鹿島中サッカー部、高松中・大野中水泳部 総合体育大会 全国・関東大会出場！



7月に中学校総合体育大会（総体）が各地で開催され、選手たちの日頃の努力の成果が発揮されました。

その中で、鹿島中学校サッカー部は関東大会に出場し、ベスト8の成績を収め、その後の代表決定戦で山梨県代表に勝利したことで、全国大会出場を果たしました。

また、高松中学校および大野中学校の水泳部は、県大会で優秀な成績を収め、関東大会出場を果たしました。

それぞれの結果については、下表のとおりです。

これから1・2年生が中心の新チームとなり、秋には初の公式戦である新人戦が始まります。さらなる鹿嶋っ子の成長と活躍に期待します。

学校名	部活動名	全国大会	関東大会結果	県大会結果
鹿島中学校	サッカー部	ベスト32	ベスト8	1位（優勝）
高松中学校	水泳部（女子） 個人		200m背泳ぎ 2分29秒86 400m自由形 4分54秒37	200m背泳ぎ 2位 400m自由形 5位
大野中学校	水泳部（女子） 個人		200mバタフライ 2分41秒41	200mバタフライ 7位

SDGsについて楽しく遊びながら学ぶ「SDGsかるた」が小学校に寄贈されました



JANAめがたしおさい女性部から、小学校の子どもたちに国連の提唱するSDGsを楽しく遊びながら学んでもらおうと「SDGsかるた」の24個の寄贈がありました。

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、誰もが格差のない平等な社会にすることを目的としており、国連が2015年に決めました。2030年までには、世界的に貧困や飢餓（きが）の撲滅、男女平等社会や健康・福祉の充実の実現など17の目標達成を目指しています。



↑女性部より寄贈を受けました

→実際のかかるた



鹿嶋市の学校紹介 ～高松小中一貫校～



高松小学校
マスコットキャラ
まつきさん

平成30年度より鹿嶋市立高松小学校及び高松中学校が、小中一貫教育をスタートしました。

小中一貫教育の特色としては、小中学校計9年間を通して、計画的に学習を行うことができ、また小学校高学年を対象に、部活動の体験、一部教科担任制をすることができ、中学校へ進学した後もスムーズに学校生活を送れるようになっています。

また、英語にも力を入れており、小学6年生の修学旅行を通じて英語体験学習や小中合同のコミュニケーション英語授業などを行っています。

令和5年度より小学校と中学校が同じ敷地内になる施設一体型小中一貫教育へ移行します。

小中合同挨拶運動



小中合同人権フォーラム